

山岡重治&太田光子 リコーダーデュオ ～中世から現代まで、600年の音楽史を辿る～

リコーダー奏者、製作者、指導者として、国際的に活躍を続ける山岡重治氏と、古楽演奏のエキスパート太田光子氏が、リコーダー600年の歴史を、色とりどりの音楽でたどります。両者の鮮やかな競演により、これまでの概念を覆す、新たなリコーダーの世界をどうぞお楽しみください。



太田光子 (リコーダー)

上野学園大学卒業、ミラノ市立音楽院をディプロマを得て卒業。第16回国際古楽コンクール<山梨>第一位。故G.ボッセの指揮のもと神戸市室内合奏団、名古屋フィルハーモニー交響楽団等に客演、H.リング指揮シュトゥットガルト・バッハ・コレギウムに参加。音楽の友誌「35人の音楽評論家・音楽記者が選んだコンサートベストテン」に、ソロ・リサイタル「リコーダーの飛翔」がノミネート。CDに「ヴィヴァルディ/リコーダー協奏曲集」(La Bottega Discantica/イタリア、レコード芸術誌特選盤)、「イタリアへの夢II」(コジマ録音、レコード芸術誌特選盤、第49回レコード・アカデミー賞ノミネート)他、多数。近年は新・福岡古楽音楽祭、はらむら古楽祭2016、名古屋バロック音楽協会をはじめ、各地でのマスタークラス講師として招聘、全日本リコーダーコンテスト審査員を務める等、後進の指導にも力を入れている。リコーダーを山岡重治、ペドロ・メメルスドルフの両氏に師事。現在上野学園大学講師、平成30年度熊本大学非常勤講師。

Program

- 中世 ファエンツァ手写本より/モテト
- ルネサンス T.モーリー/狩、ラメント
- ルネサンス J.V.エイク/アマリリ麗し
- バロック
G.Ph.テレマン/デュエット へ長調
G.F.ヘンデル/オンブラマイフ
- ロマン派
E.クレーマー/ディヴェルティメント集 作品4 (1822)より
- 現代 広瀬量平/メディテーション
アルトリコーダーのための
ほか



山岡重治 (リコーダー)

東京に生まれる。早稲田大学理工学部にて在学したが、1973年よりバーゼル・スコラ・カントールムに留学。リコーダーをハンス＝マルティン・リンデ氏及びジャンネット・ファン・ウィンゲルデン氏に師事。その後、オランダのハーグ王立音楽院にてリコーダーをリカルド・カンジ氏、リコーダー製作をフレデリック・モーガン氏に師事した。1975年ベルギー、ブルージュ国際音楽コンクールのアンサンブル部門第一位、また1978年には、ミュンヘン国際音楽コンクールのリコーダー部門最高位に入賞、以降ヨーロッパ各地にて演奏活動を行った。帰国後はリコーダーにおける演奏家、製作者、指導者として国際的な活動を続けている。コジマ録音より「ヘンデル/リコーダーソナタ全6曲」ALM-1027、マイスターミュージックよりマイスターミュージックより「永遠のカノン」MH-3040 (レコード芸術誌特選盤)他多数をリリース。全音楽譜出版社より「山岡重治リコーダーレパートリーズ」が刊行されている。上野学園大学客員教授。昨年度まで東京芸術大学講師を務める。



日時 2018年7月26日(木)19:00開演
 会場 長崎大学文教キャンパス 長崎創楽堂
 入場料 一般2,000円 大学生以下1,000円

お申込み：長崎県音楽連盟 TEL/FAX 095-820-1081
 Email nma@onyx.dti.ne.jp